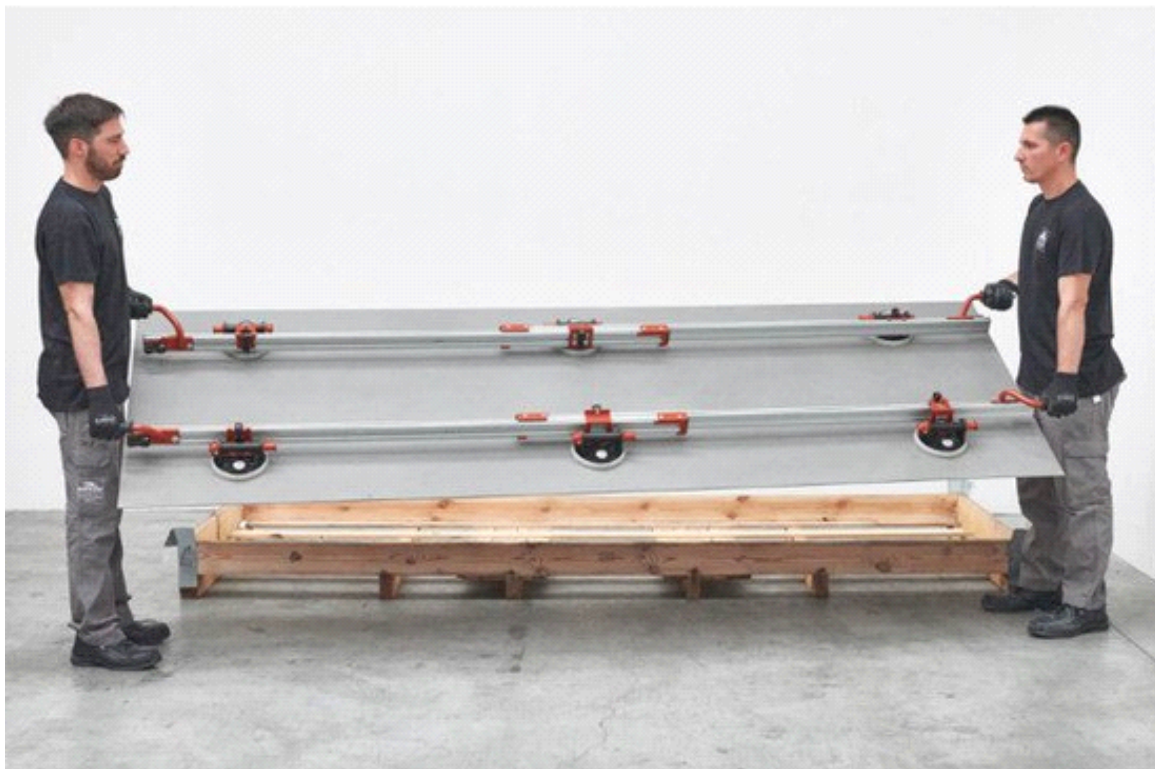


吸着システム **EZ-MOVE**



取扱説明書

株式会社メイハン
岐阜県土岐市肥田町浅野 78 - 3
TEL: 0572-55-1911
FAX: 0572-55-5421
E-mail: meihan@blk.mmtr.or.jp

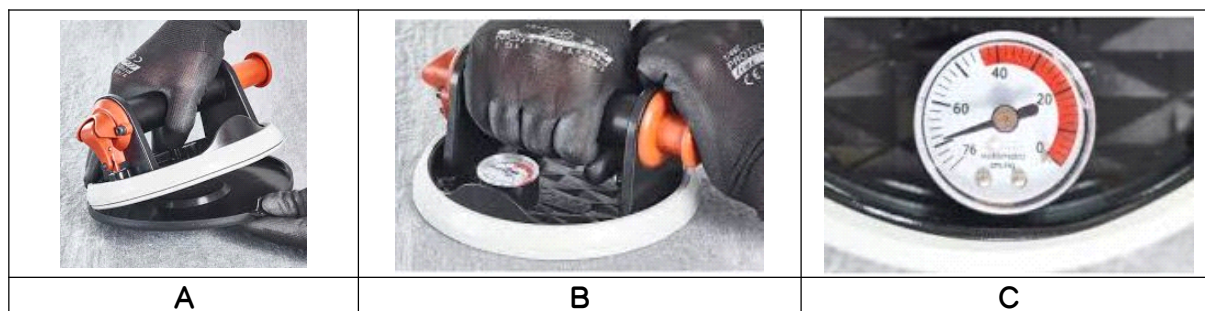
はじめに

この度は吸着システムイージームーブ（6 カップ）をご購入頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みください。

注意事項

- ◆表面が有孔材質の製品にはご使用頂けません。
- ◆吸着表面にホコリや油分が残っている場合は、必ずきれいに拭き取ってから吸着してください。
- ◆ご使用前には毎回、本品に破損が無いことをご確認ください。
- ◆各吸着盤がしっかりと吸着していることを確認してから、パネルを移動させてください。
- ◆吸着面に塗装が施されている場合は、塗装状況によっては塗装が剥離することがありますので、ご注意ください。
- ◆ご使用後は吸盤の汚れ、油分等を十分に除去してから保管してください。
- ◆イージームーブは人力による吸着移動器具です。クレーン等の機械での使用は厳禁です。
- ◆ご使用時は、保護手袋と安全靴を必ず着用してください。
- ◆本システムの安全荷重は気温 25℃条件で 180kg ですが、作業員1人当たりの負担荷重は 25kgまでとしてください。それ以上の負担荷重は事故や転倒等に繋がります。
- ◆気温0℃以下でご使用の場合は、吸盤のゴムが硬くなり、吸着力も弱くなります。

吸着盤 RV175 の吸着方法



1. 吸着盤に保護カバーが付いている場合は取り外します。(写真 A)
2. 吸着盤をパネルに軽く押し当てながら、オレンジ色のピストンを数回ポンピングします。(写真 B)
圧力ゲージの針が 60 以上になるまでポンピングを行います。(写真 C)
以上を6か所全ての吸着盤にて行ってください。

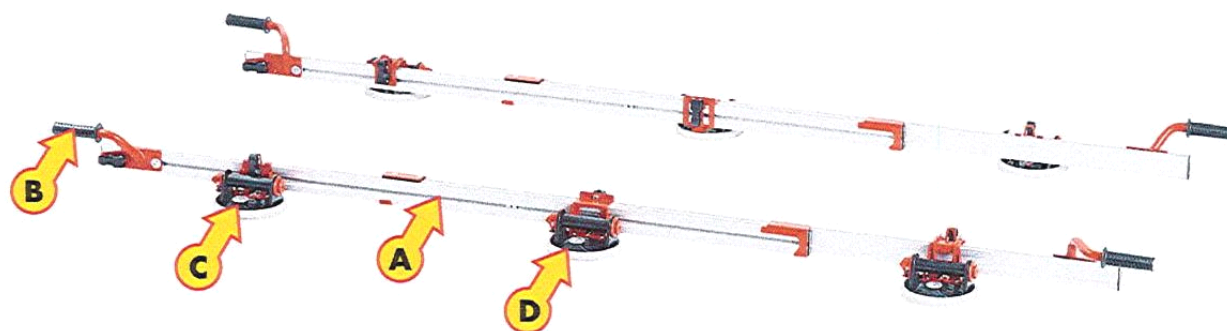
注意： 圧力ゲージの赤色目盛ゾーンは吸着不足ですので、必ず白色ゾーンに針がくるまでポンピングしてください。

吸着盤 RV175 のエア抜き



ピストン反対側にある解放レバーを押すと吸着盤は外れます。

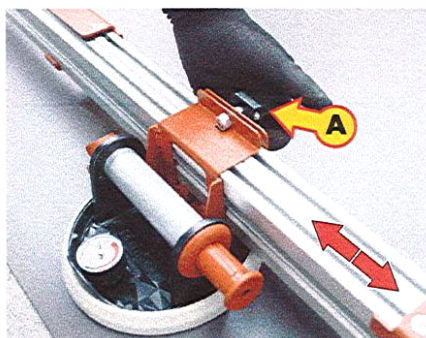
イージームーブの構成部



- A. スライドバー
- B. 手持ちハンドル
- C. サイド吸着盤 (左右の両端に各1台)
- D. センター吸着盤

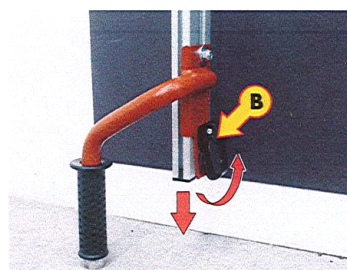
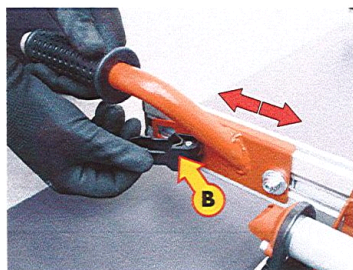
イージームーブ各部の調節方法

1.スライドバー長さの調節 (1m~3.2m)



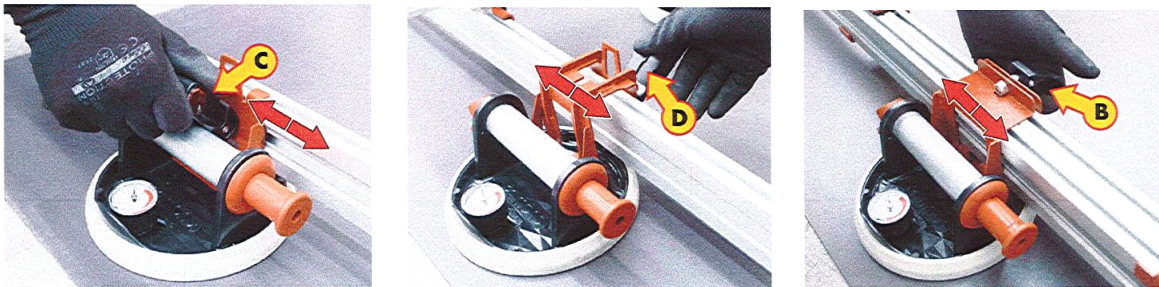
センター吸着盤の固定レバー (A) のロックを解除することで、スライドバーの長さ調整が行えます。
ご希望の長さが決まったら、固定レバー (A) をロックしてください。

2.ハンドグリップの位置調節



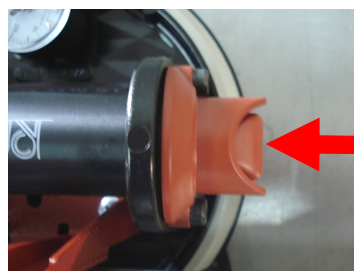
固定レバー (B) を解除することでハンドグリップの位置を変更できます。
ご希望の位置が決まったら、固定レバー (B) をロックしてください。

3.吸着盤 RV175 の位置調整



スライドレールの3か所の吸着盤はそれぞれ固定レバー (B,C,D) のアンロック、ロックにて移動できます。

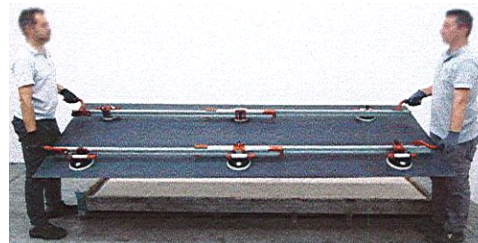
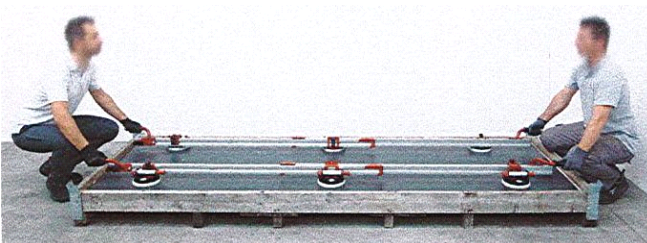
吸着盤 RV175 の吸着、リリース



リリースボタン

- ・前述の通り、ピストンを数回押しながら圧力ゲージの針が 70 (平板の場合) を指すまでポンピングしてください。(正常な RV175 の1台あたりの最大荷重は水平表面で 130kg、垂直平面で 60kgです)
- ・解放する場合はリリースボタンを押してください。

パネル・スラブの持ち上げ及び移動



パネルを少し持ち上げて、6 台の吸着盤が全部しっかりと吸着していて、バランスが良いことを確認した上で、パネルをゆっくり移動してください。

吸着盤の吸着力が少なかったり、吸着盤の位置が悪くてバランスを失う可能性がある場合は、すぐにパネルを下ろして、ポンピングのやり直しまたは位置調整を行ってください。

持ち上げたままの吸着盤のポンピングや位置移動は厳禁です。

重要： 作業員1人あたりの負担荷重は事故防止のため 25kg以内としてください。

例： パネル重量 50kg以下の場合、作業員 2 名

パネル重量 50～100kgの場合、作業員 4 名

※ フォークリフト、クレーン、ホイスト等の人力以外のご使用は厳禁です。

ご購入時付属部品

- ・潤滑オイル 1本 ・六角棒レンチ 1本 ・圧力計用 Oリング (交換用) 1個 ・丸フェルト (交換用) 2枚
- ・応急ネジ (圧力計故障時の代替用) 2個

吸着盤 RV175 の吸着カテスト

吸着盤の部品破損やごみ等が付着している場合に吸着力の維持が著しく低下する場合がございますので、下記の通り定期的に吸着力テストを各吸着盤で行ってください。

1. 平滑な平面に RV175 をポンピングして圧力計の針を 50 まで上げます。(写真 1)
2. そのまま20分放置します。20 分後、正常であれば針は 50 を指したままです。
3. 20 分後に針がレッドゾーンに振っていれば、どこかでエアリークが生じていますので、各部の掃除及び注油を行ってください。(写真 2)



(1)



(2) 異常値

吸着盤 RV175 の掃除、部品交換、注油

ゴムカバーの清掃

1. 灰色にゴムカバーを外して、外側、内側両方とも綺麗なタオルで拭き掃除をしてください。必要であれば2箇所の丸フェルトを交換してください。
2. 掃除後は、吸盤側の ↓ とゴムカバーの ↑ が同じ位置になるように嵌め込んでください。



ゴムカバーをはがす



矢印位置を合わせる

圧力計の清掃、注油

1. 圧力計を左回転に廻し取り外して、ねじ部及び Oリングを綺麗なタオルで拭き掃除します。
2. 付属の潤滑オイルをネジ穴に注油し、圧力計を取り付けます。圧力計は締め過ぎないように注意してください。



圧力計雌ネジへの注油

リリースボタン下方の注油

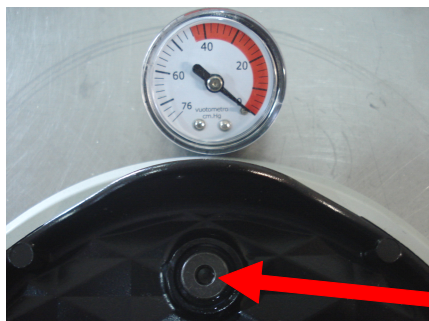
1. リリースボタンを固定している2本のボルトを付属の六角棒レンチで外して、オレンジ色ボタン形成部を全て取り外し、下部ネジ穴に注油をしてください。



圧力計の破損

ポンピングしても圧力計の針が動かない場合は、圧力計が破損している可能性があります。新しい圧力計に取り換えてください。

ご購入時の付属部品として応急用ネジ（Oリング付）が付いていますので、圧力計を取り外し、応急ネジを挿入してください。エアリークを防ぐための一時的な処置ですので、新しい圧力計が届きましたらすぐに交換してください。

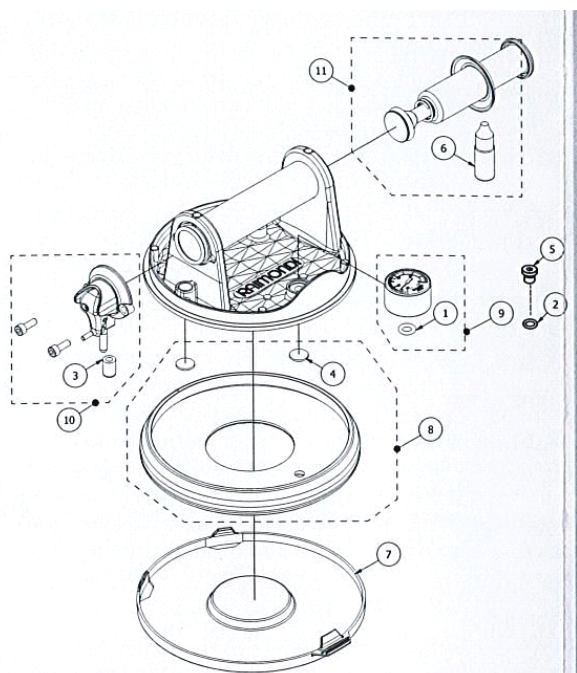


応急ネジ（Oリング付き）

RV175 のメーカーのメンテナンス動画は下記サイトにてご覧になれます

www.raimondispa.com/vacuumcare/

吸着盤 RV175 部品図



ID	CODICE / CODE
1	177OR03C1
2	177OR12C
3	185WD16D
4	185WD25D
5	185WD29D
6	185WD31D

ID	CODICE / CODE
7	185WD32D
8	185WR01A
9	185WR02A
10	185WR03A
11	185WR04A